



心温まる出来事 ～相手を思いやる気持ち～

副校長 向井 美紀

大寒を過ぎ、明日は節分を迎えます。節分は「季節を分ける」という意味もあり、豆まきをした翌日は、春の到来を告げる立春となります。暦の上では春ですが、まだまだ寒いこの季節、2つの心温まる出来事をお話したいと思います。



1つ目は、二中吹奏楽部の皆さんから四小の子供たちへの音楽のプレゼントです。毎年恒例となりましたが、二中の皆さんが、朝から四小体育館に向き、セッティング、リハーサルなどの準備をし、2時間目に、全校児童に向けてすばらしい演奏をしてくださいました。小学生が楽しめるように、アニメソングやそれぞれの楽器紹介などの工夫されたプログラムにはとても感心しました。吹奏楽の伴奏に乗って歌った校歌も忘れられません。そして、中学生が前で堂々と見本を見せた「ようかい体操」を全員で踊り、大いに盛り上がりました。1年生から6

年生までの四小の子供たちにとって、目の前の中学生の姿にあこがれをもち、演奏に感動した1時間になりました。最後には、キラキラした目でアンコールの拍手を送り、再度「ようかい体操」をリクエストすることができ、子供たちはとても満足だったことと思います。

吹奏楽部の皆さんは顧問の先生のご指導の下、子供たちを喜ばすために、さまざまな知恵を出し合い、毎日練習したのでしょう。限られた時間の中で一生懸命音楽を伝えようとする二中の皆さん、すばらしい演奏を本当にありがとうございました。

2つ目は、23日に体育館で行われた長縄大会での出来事です。2学期末に行う予定でしたが、インフルエンザの流行で3学期に延期され、やっと開催することができました。この日は、2学期末から毎日、体育の授業や休み時間に学級や学年で練習した長縄の成果の発表です。練習を始めた時は、縄をくぐることにすら出来なかった1年生が何人も続いて跳ぶことができ、成長を感じた1コマがありました。2年生は、心を合わせて挑戦した華麗な10人跳びが印象的でした。さすがに中・高学年の子供達は、回す縄のスピードも速く、軽やかな跳躍を見せてくれました。

どの学年もすばしかったのは、子供たちと教員のかげ声です。「1、2、3・・・」の回数を数える声に混じって、しばしば「がんばれ!」「ドンマイ!」「ナイス!」という大勢の声が体育館にこだまします。時折、手拍子も聞こえてきます。子供たちの仲間を応援する声と縄の音が体育館中に響き渡り、渦のようになってものすごい熱気を巻き起こしていました。四小の子供たちの何事にも一生懸命向き合い、お互いを励まし合う姿に心が温まるばかりか、熱くなりました。

今年度も残り2ヶ月を切りました。体育的な行事はマラソン旬間を残すのみです。私達教員は、体力や運動能力を高めつつ、「四小スタンダード」という授業の型を実践したことで、児童の自ら学ぶ力がどれだけ身に付いてきたかを検証していく必要があります。授業、学校行事などさまざまな場を通して、子供たちが将来、花を開くための基礎をしっかりとつくっていきたいと思います。

〔2月の行事予定〕

| | | | |
|--------|--------------------|--------|------------------------|
| 2日(月) | 委員会 カナディアンクラブ指導 | 13日(金) | 2年生集会 |
| 3日(火) | 全校朝会 | 14日(土) | ミニバス大会(6年生有志) |
| 4日(水) | 地区高学年会 | 16日(月) | クラブ(3年生見学) カナディアンクラブ指導 |
| 5日(木) | 校外学習(3年生) 新1年生保護者会 | 17日(火) | 全校朝会 |
| 6日(金) | 体育集会 マラソン旬間始 | 21日(土) | 学校公開日 2分の1成人式(4年生) |
| 9日(月) | クラブ | 23日(月) | クラブ |
| 10日(火) | 全校朝会 | 24日(火) | 全校朝会 |
| 11日(水) | 建国記念の日 | 25日(水) | 給食試食会 |
| 12日(木) | 地区高学年会 | 27日(金) | マラソン旬間終 |

〔体力・運動能力向上に向けて〕

体育主任 佐々木 朝子

本校では、体力向上に向けて持久力を高めるための取り組みを年間を通して行い、その内容は、1学期「短縄とび旬間」2学期「長縄とび旬間」3学期「マラソン旬間」となっています。

先日1月23日には、2学期の長縄とび旬間の締めくくりとして、長縄とび大会が行われました。低・中・高学年ごとに分かれて、3分間で八の字跳びが何回跳べるかを競い合いました。あいにく校庭のコンディションが良くなかったため、体育館での開催となりました。それまで練習してきた成果を出そうと全力で長縄とびに挑戦する姿は寒さを吹き飛ばす勢いでした。

そして3学期は、2月6日(金)より「マラソン旬間」が始まります。休み時間の最後5分をマラソンの時間と設定し、全校児童で校庭のトラックを走ります。旬間後には、学年での計測会を行う予定です。児童の運動日常化と体力向上に向けて3学期も取り組んでまいりますので、ご家庭においてもご協力の程よろしくお願い致します。

〔読書週間を終えて〕

図書担当 百々 裕紀子

学校図書館図書員 小島 みすず



図書委員会による集会では、『りんごかもしれない』を読み聞かせしました。聞いていた子供たちから「おもしろかったです」という声が聞かれました。

読書週間中は、職員による読み聞かせスタンプラリーを読書自習室で行いました。連日、読書自習室は大入り満員で、お話の世界を楽しむ子供たちの姿が見られました。

水曜日の朝は、各教室でそれぞれの先生が読み聞かせをする「読み聞かせ集会」でした。聞きたいお話の教室に行き、先生の読み聞かせを聞きました。また、各クラスから、おすすめの本を紹介してもらい、図書室に掲示しています。

さまざまな取り組みを通して、子供たちが本に親しみ、本の魅力を感じてくれたら良いと思います。

〔盲導犬ユーザーのお話(3年生)〕

3年担任 星野 理 大道 なおみ



四小タイム(総合的な学習の時間)の授業で、盲導犬ユーザーの方をお招きして、普段の生活についての話や盲導犬との出会いなど様々なエピソードを聞く機会がありました。3年生はほとんどの児童が盲導犬を見るのは初めてで、最初から最後まで話に聞き入っている様子でした。

その中でも子供たちの興味をひいたのは、その方が毎週必ずスポーツをするということでした。目が不自由でもアクティブな生活を送ることができている姿に魅力を感じ、その後のまとめの学習でたくさんの児童が「すごい」「もし自分が同じようになったら…」というようなことを書いていました。とても実りのある授業となりました。

〔租税教室(6年生)〕

6年担任 金子 嘉良 佐々木 朝子

先日の学校公開日に立川税務署の方々をお招きして、租税教室を実施しました。

講義を受ける前、子供たちは「税金をなぜ払わなくてはならないのか」と思っていたようですが、講義を聞いて「税金は私たちの生活に欠かせないものである」と考えを改めていました。また、学校の教育費が1年間に約85万円もかかっていることを知り、とても驚いていました。

税金の大切さを知った6年生。今までとは違う視点で生活を見直せるようになったことで、残り少ない小学校生活を更に充実したものにしてけると期待しています。